

サントリーホールディングス株式会社

SUNTORY

2025年までに、容器包装/使い捨てプラスチックにつき

1. 問題のあるもの、および、必ずしも必要のないものの使用を取り止める。
さらに環境負荷低減に向けて削減目標を設定した上で取り組む。
代替素材への切り替えの際は、その持続可能性を十分考慮する。
2. 可能な限り、リユース (他の素材のリユースを含む) へと切り替える
3. 可能な限り、リユース、リサイクル可能なデザインとする
4. リサイクル素材の意欲的な使用目標を設定する
5. リユース、リサイクル率を向上させるためにステークホルダーと協力する

サントリーグループ「プラスチック基本方針」

サントリーグループ「プラスチック基本方針」

サントリーグループは、商品の源泉である自然の恵みに感謝し、多様な生命が輝き響きあう世界の実現にむけて、循環型かつ脱炭素社会への変革を強力に先導します。プラスチックはその有用性により、われわれの生活にさまざまな恩恵をもたらしています。

当社が使用するプラスチック製容器包装が有用な機能を保持しつつも、地球環境へネガティブな影響を与えないよう、多様なステークホルダーと、問題解決に向けた取り組みを推進していきます。また、問題解決に向けサントリーグループ従業員の一人ひとりが責任ある行動に努め、持続可能な社会を率先して実現します。

1. Recycle & Renewable：

- ① 2030年までに、グローバルで使用するすべてのペットボトルの素材を、リサイクル素材あるいは植物由来素材等100%に切り替え、化石由来原料の新規使用ゼロの実現を目指します。
- ② すべての事業展開国において、各国の国情に応じた効率的なリサイクルシステム構築のために必要な施策を、政府機関や業界、環境NGO、NPOなどととともに積極的に取り組みます。

2. Reduce & Replacement：

資源の有効活用のために、容器包装のデザイン変更などにより、プラスチック使用量の削減を推進するとともに、環境にネガティブな影響を与えない代替となる容器包装の導入の検討をすすめます。

3. Innovation：

リサイクル率向上、環境影響を最小限におさえる素材領域などにおけるイノベーションに積極投資します。

4. New Behavior：

人々の行動変容を促す啓発活動を実施するとともに、サントリーグループ従業員一人ひとりが、ライフスタイルの変革に努め、分別収集の促進、河川、海岸の清掃活動などの社会貢献活動にも積極的に参加します。

ペットボトル容器におけるサステナビリティ戦略

ペットボトル容器の2R+B戦略

2R+B*

 **Reduce** リデュース

使う量を減らす
ペットボトル軽量化のバイオニア
として、容器の軽量化を推進

 **Recycle** リサイクル

資源として使う
BtoB（ボトルtoボトル）などの
技術で資源として循環

 **Bio** バイオ

バイオマス由来の資源
脱石油資源を目指し、バイオマス
由来樹脂を積極的に活用

環境への配慮

Sustainability

×

使いやすさ

Usability

※ 2R+Bは登録商標です

ペットボトル容器に関して、開発において樹脂使用量の削減と再生素材の使用により徹底した資源の有効利用を図りつつ、可能な範囲で化石由来原料を再生可能原料で代替していくという、**サントリーグループ独自の2R+B（Reduce・Recycle + Bio）戦略**に基づき取り組んでいます。

リデュースへの取り組み

サントリーグループは約20年前より、ペットボトル・キャップ・ラベルなどの軽量化・薄肉化に取り組んできました。商品の飲用時品質（中味の品質保持・容器の使いやすさ）を維持・向上しながら、資源の有効利用を目指しています。

「サントリー天然水」550mlの軽量化の変遷※1



2000年

24.0g



2010年

13.5g

2000年に比較して

約50%の
削減



2013年～現在

11.9g

※1 2009年までは容量500ml

「サントリー天然水」2Lの軽量化の変遷



2000年

57.0g



2010年

36.0g

2000年に比較して

約50%の
削減



2013年～現在

29.8g

リサイクルへの取り組み



資源循環 と 脱炭素 に貢献

資源循環

原料＝使用済みペットボトル。
繰り返しボトルを再生するため

新規化石由来原料の使用量削減

脱炭素

新規原料から製造する場合と比較して

CO₂排出量を約60%削減※

※使用済みペットボトルからプリフォーム製造までの工程において

ペットボトルの100%サステナブル化への取り組み

国内清涼飲料事業

「ペットボトルのサステナブル素材※使用率（重量比）」の実績推移



※ リサイクル素材+植物由来素材等

リサイクルペットボトル
導入製品の一例



「やさしい麦茶680ml」
「やさしいレイボス600ml」
「やさしいコーン茶600ml」
「デリカメゾン赤720ml」

ボトルは資源!
サステナブルボトルへ

ロゴマーク
「ボトルは資源! サステナブルボトルへ」

SUNTORY

「FtoP ダイレクトリサイクル技術」の導入

2017年には、協栄産業（株）および海外機械メーカー（オーストリア・エレマ社（EREMA）、イタリア・シパ社（SIPA））と協働し、さらなる環境負荷低減効果が見込まれる「FtoPダイレクトリサイクル技術」の開発に取り組み、2018年秋より、製造を開始しています。「FtoPダイレクトリサイクル技術」は、回収したペットボトルを粉碎・洗浄した「フレーク（Flake）」を高温で溶解・ろ過後、直接プリフォーム製造を行うことができる技術です。「FtoPダイレクトリサイクル技術」は、新たに化石由来原料を使用する場合と比較すると約70%のCO₂排出が削減※できます。



FtoPダイレクトリサイクル技術使用商品（一例）



約70% のCO₂排出量を削減*

FtoPダイレクトリサイクル技術の工程

※ 使用済みペットボトルからプリフォーム製造までの工程において

Recycle: 「ボトルtoボトル」 水平リサイクルの推進 サントリーグループのサステナビリティ サントリー

SUNTORY

「ボトルtoボトル」 水平リサイクル推進にむけた啓発活動

啓発授業



消費者コミュニケーション



リサイクルボックスでの業界連携



ボトルは資源!

サステナブルボトルへ

以上